

脳卒中医療体制検討特別委員会

(令和5年度)

脳卒中医療体制検討特別委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 脳卒中医療体制検討特別委員会

委員長 堀江 信貴

I. はじめに

令和元年に「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病、その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が施行され、令和2年に国の「循環器病対策推進基本計画」が策定された。

広島県では、令和3年度、基本法第11条第1項に基づき、国の計画を基本として、広島県の循環器病に係る実情を踏まえ、地域の特性に応じた「広島県循環器病対策推進計画（以下、「県計画」という。）」を令和4年3月に策定し、循環器病対策の一層の推進を図っているところであるが、現行計画の計画期間が令和5年度で終了することから、本委員会では、次期計画策定に向け、素案について協議した。

あわせて、脳卒中の連携パスの活用・促進に係る報告、広島県脳卒中・心臓病等総合支援センターに係る情報共有等を行った。

II. 具体的な委員会報告

委員会の開催は以下の2回行った。

1. 令和5年度第1回委員会：令和5年7月26日（水）WEB会議
2. 令和5年度第2回委員会：令和6年3月4日（月）WEB会議

(1) 広島県循環器病対策推進計画 施策の取組状況について

広島県より、資料1のとおり県計画における今年度と今後の取組内容について報告があった。脳卒中地域連携パスについては、堀江委員長より、データ収集期間が終わり、これから検証の段階に移る。データ量が限られているが、解析結果については今後報告予定である旨の説明があった。

(2) 第2次広島県循環器病対策推進計画について
第2次県計画は、現計画策定から間もないことから、現計画の大枠を維持しつつ、進捗状況や国の第2期基本計画を踏まえて、必要な修正を加える。医療法に基づき策定する「医療計画」において「脳卒中」及び「心筋梗塞等の心血管疾患」は5疾病として位置付けられており、同計画との一体化により、機能的かつ効果的な施策の実施及び進捗管理が期待できることから、本計画の内容を広島県保健医療計画に包含し、次期広島県保健医療計画（第8次）における「脳卒中」及び「心筋梗塞等の心血管疾患」の項並びに関連部分を、県計画（第2次）として位置付ける。また、令和5年度に健康ひろしま21や高齢者プラン等の保健・医療・介護に係る県計画を一斉改定予定であり、それらの関連計画との調和を図ることとした。

第2次県計画には、循環器病に対する適切な支援方法などの一貫した情報提供・相談支援体制が十分でないという課題を踏まえ、循環器病にかかる専門的な知識を有し相談対応や情報提供の中心となる連携病院を設置する等により、広島県全体の循環器病患者に対する包括的な支援体制の充実を図る旨追記された。数値目標は、それぞれの項目で令和3年の現状値以上の値、第1次県計画の目標値の継続としている。本委員会においては、主に目標値の妥当性について検討を行い、委員からは、広島県の地域差も目標値とあわせて考えないといけない、働き方改革の影響についても考慮しておく必要があるとの意見があった。

第2次県計画については、広島県医療審議会を経て決定し、県ホームページに全文が掲載されている。

(3) 脳卒中地域連携パスに係る地域での連携の会の調査結果について

本委員会において、「維持期・生活期の連携を進め

るにあたり、生活期のパスが返ってこないという課題があり、県内の地域連携パスに係る連携の会の箇所数・活動内容等の実態を知りたい」という意見が出たことを受け、調査内容を協議した上で実態調査を実施し、広島県より、資料2のとおり調査結果の報告があった。結果の概要は以下のとおり、診療報酬「A246 入退院支援加算 地域連携診療計画加算」の施設基準を満たす県内63施設を対象に調査し、47施設から回答があった（回答率74.6%）。回答のあった47施設のうち36施設（76.6%）が地对協作成の地域連携パスを利用していた。情報交換のための地域連携の会の開催状況は38施設（80.9%）が実施・参加していると回答があった。前回の委員会の際に意見のあった開催方法の設問では令和4年度はWebのみが半数を超え、その他はハイブリッドでの開催であったが、令和5年度はハイブリッドの割合が増えており、今後の開催についても状況に応じて検討するとなっており、新型コロナが5類に変更されたことで対面の機会が増えるなど、状況が変化していることがわかった。

(4) 広島県脳卒中・心臓病等総合支援センター事業について

令和4年度から開始された厚生労働省の脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業は、専門的な知識を有し、地域で中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、県と連携しつつ地域の医療機関との協力体制を強化し、患者支援体制の充実を図ることとしている。

広島大学病院が令和5年度モデル事業施設に採択され、院内に循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置、地域住民を対象とした循環器病について予防に関する内容も含めた情報提供と普及啓発等の取組を実施した。モデル事業は1年間であることから、令和6年度からは広島県の事業として、二次医療圏域毎の急性期病院や各種職能団体との連携体制を構築する予定である。

広島県循環器病対策推進計画 施策の取組状況（令和5年度の取組及び令和6年度の取組の方向性）

1 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
①栄養・食生活 ②身体活動・運動 ③休養 ④飲酒 ⑤喫煙 ⑥適正体重 ⑦成人期の歯・口腔の健康 ⑧基礎疾患	<p>【共通】</p> <p>《ひろしま健康づくり県民運動推進会議》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま健康づくり県民運動推進会議ホームページによる健康づくりイベント等の情報提供 ・ひろしま健康づくり県民運動推進会議において、健康づくりイベントの開催、健康に関するインターネットアンケート調査の実施 <p>《エミタス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療・介護・保健情報総合分析システム」を活用し、市町国保等の医療費の状況(1人当たり医療費等)や、市町ごとの医療・介護サービスの利用割合を分析し、県ホームページで公表 <p>《市町事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町の「健康づくりポイント事業」を情報発信し、取組を支援 ・市町が行う健康増進事業への財政支援 <p>《薬局》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康サポート薬局研修会の開催 <p>《圏域地対協》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康ひろしま21（第2次）改訂版」の各二次保健医療圏域計画について、計画最終年における進捗状況及び最終評価、課題を踏まえ、今後の取組の方向性等を検討するため、保健医療福祉関係団体等を構成員とした圏域計画推進会議等を開催し、協議を行った。 <p>《健康経営》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営優良企業を表彰し、その取組を県ホームページ等で紹介 <p>表彰企業数：3社（R5年度） 計12社（R2年度の制度創設以降）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの県民が健康づくりを実践するよう、イベント情報などの発信方法を工夫していく。 ・保険者のデータヘルスを推進するため、分析データの精度向上、内容の充実を図る。 ・引き続き、市町等の取組を支援する。 ・「健康ひろしま21（第3次）」を踏まえ、今後も各圏域の健康課題の解決に取り組む。 ・「健康経営」の考え方の浸透と「健康経営」を実践する企業の拡大を促進していく。

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康経営」導入・継続セミナーの開催、協会けんぽの「ひろしま企業健康宣言」へのエントリーの働きかけの実施 ・デジタル技術を活用した健康を維持する行動を身に付けるための実証試験を実施（参加：県内企業等約50団体の約1,300人） <p>【栄養・食生活】</p> <p>《健康生活応援店》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品関連事業者に健康生活応援店の認証を働きかけるとともに、認証状況を県ホームページに掲載して県民の利用を促進 認証店舗（延べ店舗数）：2,050店舗（R6.2月末現在） <p>《ひろしま食育・健康づくり実行委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま食育・健康づくり実行委員会（実行組織）において、けんこうチャレンジ等による啓発活動、野菜摂取量の増加の取組（ベジフルチャレンジ、ベジチェック測定会）、県内大学と連携した朝食摂取啓発の取組等を実施 <p>《ひろしま健康づくり県民運動推進会議》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま健康づくり県民運動推進会議において、生活習慣病予防レシピを作成・公開 <p>《企業連携》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業と連携した食育啓発や、野菜摂取を促すためのレシピ集作成など情報発信を実施 <p>【飲酒】</p> <p>《発症予防・早期発見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール関連問題週間等における普及啓発（新聞広告、冊子「そのお酒、本当に楽しい？」の配付） ・かかりつけ医等を対象としたアルコール健康障害サポート医の養成 ・県内保健所、保健センター等で保健指導及び相談支援に従事する保健師等を対象とした広島県アルコール健康障害相談員の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、食品関連事業者に対して健康生活応援店の認証に係る働きかけ、県民の利用促進に取り組む。 ・引き続き、関係団体と連携して啓発活動を実施していく。 ・引き続き、企業と連携して情報発信等を行う。 ・引き続き、不適切な飲酒を防止する取組を継続していく。

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症の早期発見・早期対応・継続支援モデル事業の構築に向けた「SBIRTS（エスパーツ）普及啓発セミナーひろしま」の開催 <p>【喫煙】</p> <p>《健康増進法、広島県がん対策推進条例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページや広報誌等を活用して、健康増進法、広島県がん対策推進条例による受動喫煙防止対策の周知、対象施設の管理者等に対する相談指導等を実施 ・広島県がん検診サポート薬剤師により、大学生を対象にたばこの研修会を実施 <p>《Teamがん対策ひろしま》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Teamがん対策ひろしま」登録企業内における禁煙支援、受動喫煙防止対策等を支援 <p>《世界禁煙デー、禁煙週間等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界禁煙デー」や「禁煙週間」等において、ポスターの掲示等により、喫煙・受動喫煙による健康被害の普及啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、周知啓発として研修会の実施、相談指導等を実施していく。 ・企業等との連携強化により、禁煙支援、受動喫煙防止対策等を推進していく。 ・「世界禁煙デー」や「禁煙週間」の取組を継続するとともに、喫煙による健康被害を県ホームページや広報誌等に分かりやすく掲載し啓発していく。

2 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
(1) 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進	<p>《周知・受診勧奨等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHKラジオ、新聞、マツダスタジアムのアストロビジョン、ホームページ等を活用して情報発信を行い、特定健康診査・特定保健指導の制度周知や受診勧奨を推進 ・特定健康診査実施率向上に向けて、AI（人工知能）を活用した受診勧奨の推進 ・協会けんぽ被扶養者へがん検診啓発特使の肖像を利用したハガキにより、がん検診と特定健康診査の受診勧奨を実施 実施市町：21市町 ・協会けんぽ加入企業へ「がん対策職域推進アドバイザー」が個別訪問し、生活習慣病予防健診（特定健康診査とがん検診を含む）の利用を促進 <p>《環境整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保険者に対し、土・日健診、レディース健診（女性のみを対象）、託児を用意した健診、特定健康診査とがん検診との同時実施など、受診しやすい環境整備を推奨 <p>《県保険者協議会》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①特定健康診査受診強化期間キャンペーンの実施 ②人材育成研修会の開催（WEB開催） 基礎編受講者：163人 技術編受講者：250人 ③ホームページを活用した情報提供 集合契約の状況、人材育成研修会の開催要領・研修資料 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、特定健康診査・特定保健指導の必要性の理解促進を図っていく。 ・脳卒中・心臓病等総合支援センターにおいて、特定健診に係る啓発資料の作成、協会けんぽ機関誌での周知を行う【新規】 ・引き続き、市町でのAI（人工知能）を活用した受診勧奨を推進していく。 ・引き続き、効果的な受診勧奨に取り組むとともに、受診しやすい環境を整備していく。 ・引き続き、特定健康診査、特定保健指導に関わる医師、保健師等の技術力の向上に取り組んでいく。

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
(2) 救急搬送体制の整備	<p>【共通】</p> <p>《メディカルコントロール協議会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディカルコントロール協議会において、救急患者の受け入れ困難解消に向けた対応策を協議 <p>【脳卒中関係】</p> <p>《ジャストスコア》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市域を中心として、脳血管内治療を必要とする患者を迅速に治療実施。可能な専門医療機関へ搬送して治療を行うために、脳卒中の可能性や脳卒中の病型をインターネットで判定できる「ジャストスコア」の運用継続 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《消防機関、市町等の講習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性心筋梗塞等の心血管疾患の初期症状に気づくための啓発や、発症時の対応に関する情報提供等の推進 〔一般県民への講習〕 ・消防機関、市町等におけるAED（自動体外式除細動器）を含めた救急蘇生法の講習会等の支援 ・急性心筋梗塞発生時及び再発時の応急処置に関する一般市民への普及啓発の実施 <p>※応急手当普及啓発講習受講状況（R3）</p> <p>普通・上級救命講習：開催数 129 回 受講者数 8,975人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、救急搬送体制の充実を図っていく。 ・引き続き、取組を継続していくとともに、一般県民向けの公開講座の開催を検討する。 ・引き続き、消防機関、市町等の一般県民向け講習の実施を支援していく。
(3) 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築	<p>【脳卒中関係】</p> <p>《地対協：脳卒中医療体制検討特別委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中医療体制検討特別委員会において、「ひろしま脳卒中地域連携バス」の活用促進に係る協議・検討を実施 ・「ひろしま脳卒中地域連携バス」の運用に係る調査・分析を開始 <p>【心血管疾患関係】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バスに係る分析を継続し、維持期の医療機関等への普及促進など運用状況に応じた地域別の対策を検討していく。 ・研究を継続し、結果をまとめ、発症状

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
	<p>《地対協：心血管疾患医療体制検討特別委員会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心血管疾患に係るレジストリー研究（患者の発症状況の調査・分析）の調査・分析を開始 ・虚血性心疾患地域クリニカルバス講演会の共催（主催：広島大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 況に応じた地域別の対策を検討していく。
(4) 関係機関の連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援	<p>【共通】</p> <p>《在宅医療》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県医師会と連携し、在宅医療に取り組む医師、ケアマネジャー、訪問看護師等に対し、困難事例などの対処方法等の研修を3月に実施予定 ・また、昨年度実施した研修について、県医師会ホームページに掲載 ・要介護者等の退院時の状況等を把握するための退院調整等状況調査や病院、診療所、歯科医療機関、薬局、訪問看護事業所への医療機能調査を実施、結果等を県ホームページに掲載予定 ・市町職員、地域包括支援センター職員等に対して、循環器病の知識を深めるため研修等を実施（自立支援型ケアマネジメント研修（疾患別研修）） <p>【脳卒中関係】</p> <p>《ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしま医療情報ネットワーク（HMネット）を活用したひろしま脳卒中地域連携バスの共有方法の周知 ・広島県地域包括ケア推進センターに共催で、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等のケアマネジャーや保健師、社会福祉士等向けに、「循環器病（脳卒中・心血管疾患）に係る地域連携セミナー」（テーマ：脳卒中）を開催（開催回数4回。自立支援型ケアマネジメントアセスメント力向上研修、自立支援型ケアマネジメント基本研修） <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《心臓いきいき推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心臓いきいき推進会議」（年3回）を開催し、専門治療の提供等に係る各圏域の取組や課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関等の関係者と介護サービス事業者の情報共有、連携の強化に努め、発症から在宅復帰までの地域連携体制を推進していく。 ・バスの利用率が低い維持期の医療機関等にバスの普及を図り、医療と介護の連携を強化していく。 ・引き続き、関係者向けのセミナーを開催する。

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
	<p>等を共有。同会議の部会である「心臓いきいきコアメンバー会議」（年2回開催）を開催し、各課題に対する対応策を検討。地域の現状と課題を共有し、必要な取組を検討する「心臓いきいき推進会議 事業部会」を立ち上げ、会議を開催（年2回）し、アクションプランを作成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅での患者を支援する「心臓いきいき在宅支援施設」を設置し（R5年度末382施設）、心不全センター及び各地域心臓いきいきセンターによる支援を実施 ・回復期を担う「心臓いきいき連携病院」を設置し（R5年度末36施設（見込み））、医療機能の分化・連携を推進。 ・地域心臓いきいきセンターによる在宅支援施設の医療・介護従事者の専門的な知識向上を目的とした専門研修（キャラバン研修会）の実施（開催回数各圏域ごとに1回） ・地域心臓いきいきセンターによる各圏域の連携体制強化のための症例検討会の実施（開催回数各圏域ごとに1回） ・「心筋梗塞・心不全手帳」の配布 配布部数：5,333部（R4年度） 累積配布部数：75,535部（H23～R4年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、高齢化の進行に伴い、増加していく心不全患者に対応していくため、引き続き、各圏域の専門治療等の提供体制および、連携体制を充実させていく。
(5) リハビリテーション等の取組	<p>【脳卒中関係】</p> <p>《ひろしま脳卒中地域連携バス》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひろしま脳卒中地域連携バス」の活用促進により、急性期～回復期～維持期の各病期に応じたリハビリテーションを推進 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《心臓いきいき推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島大学病院心不全センターや各地域心臓いきいきセンターにおいて、入院時の多職種カンファレンスや心血管疾患リハビリテーションを実施 ・多職種カンファレンスでは、退院後の食事・服薬指導、運動療法等を地域においても多職種チームで支援し指導する仕組（連携体制）を推進 ・包括的心臓リハビリに関する地域の現状と課題を共有し、必要な取組を検討する「心臓いきい 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域連携バスの活用促進等により、病期に応じたリハビリテーションを推進していく。 ・引き続き、多職種カンファレンスや心血管疾患リハビリテーションの実施体制を確保するとともに、退院後も適切な在宅療養ができる環境を整備していく。 ・心臓いきいき推進事業において、広島県版包括的心臓リハビリテーション介入モ

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
	<p>き推進会議 事業部会」にて意見交換し（年2回）アクションプランを作成。</p> <p>《心筋梗塞・心不全手帳》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心筋梗塞・心不全手帳」により、リハビリテーションなどの患者情報を関係機関が共有し、在宅療養が可能な体制づくりを推進 	<p>デルの作成を行う。【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心筋梗塞・心不全手帳」の改訂を行い更なる活用促進を図る。【新規】
(6) 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援	<p>【共通】</p> <p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県循環器病（脳卒中・心血管疾患）情報サポートサイトの開設 <p>【脳卒中関係】</p> <p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器病相談支援・情報提供推進部会において、患者とその家族への医療、介護及び福祉サービスに係る必要な情報提供等に係る協議・検討を実施 <p>【心血管疾患関係】</p> <p>《心臓いきいき推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域心臓いきいきセンターにおける「心臓病教室」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、広島大学病院心不全センターにおいて作成した動画（DVD）を地域心臓いきいきセンターに配布し、活用しつつ、一部の施設では対面での集団に対する教室を再開 ・地域心臓いきいきセンターによる市民公開講座の実施（開催回数6回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中・総合支援センターにおいて、社会資源 MAP の作成を行い、サイトの更新を行う。【新規】 ・脳卒中・心臓病等総合支援センターとの協同で一般県民向けの公開講座の開催を検討する。 ・引き続き、啓発活動を実施し、脳卒中・心臓病等総合支援センター事業において、循環器病患者の相談体制整備を行う。【新規】

区分	令和5年度の取組状況	令和6年度の取組の方向性
(7) 循環器病の緩和ケア	<p>《心臓いきいき推進》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域心臓いきいきセンターが、医療機関等の職員向けに、慢性心不全の患者等に対する緩和ケアに係る研修会を開催（開催回数1回） <p>《ACP（アドバンス・ケア・プランニング）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護の専門職向けのACP普及啓発研修実施の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中・心臓病等総合支援センター事業により、医療機関等の職員向けの研修会を開催する。【新規】 ・引き続き、県民や医療・介護等の専門職に対し、ACPの啓発を実施すると共に、ACP普及のため医療・介護の専門職に対し、ACP普及啓発研修等を実施していく。
(8) 循環器病の後遺症を有する人に対する支援	<p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民フォーラム2023 てんかんを考える」において、脳卒中に関連した内容の講演を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、部会で検討していく。
(9) 治療と仕事の両立支援・就労支援	<p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器病相談支援・情報提供推進部会において、患者の治療と仕事の両立や復職・就労支援に係る協議・検討を実施 ・広島産業保健総合支援センターと共催で、医師、産業保健スタッフ、企業の人事・労務担当者、両立支援コーディネーター基礎研修修了者、医療関係者向けに、「循環器病（脳卒中・心血管疾患）に係る治療と仕事の両立支援セミナー」を開催（開催回数1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、部会で検討していくとともに、関係者向けのセミナー開催について検討する。
(10) 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策	<p>《循環器病相談支援・情報提供推進部会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器病相談支援・情報提供推進部会において、広島市立広島市民病院 小児科/小児循環器科 片岡 功一医師による、「小児循環器疾患の成人期移行医療」に係る情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、部会で検討していく。

調査の概要

1 目的

「地域連携の会」の実態を把握し、「ひろしま脳卒中地域連携パス」の評価等に資する。

2 対象

診療報酬「A246入退院支援加算 地域連携診療計画加算」の施設基準「連携機関の職員と当該保険医療機関の職員が、地域連携診療計画に係る情報交換のために、年3回以上の頻度で面会し、情報の共有、地域連携診療計画の評価と見直しが適切に行われている。」を満たす病院等 63施設

3 調査方法

インターネットのアンケートフォームにより回答

4 調査期間

令和5年3月20日～3月29日

5 回答率

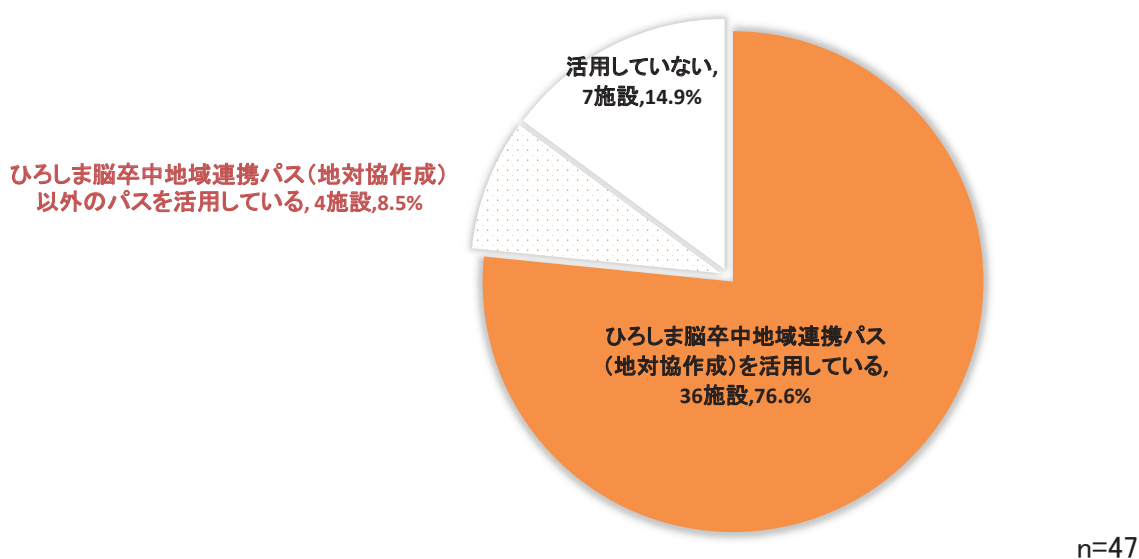
74.6% (47施設/63施設)

施設区分	回答数	母数	回答率
全体	47施設	63施設	74.6%
病院	45施設	60施設	75.0%
診療所	2施設	3施設	66.7%

施設区分	回答数	母数	回答率
全体	47施設	63施設	9.9%
急性期	18施設	47施設	38.3%
回復期	20施設		42.6%
急性期及び回復期	9施設		19.1%

1

「脳卒中地域連携パス」の活用の有無

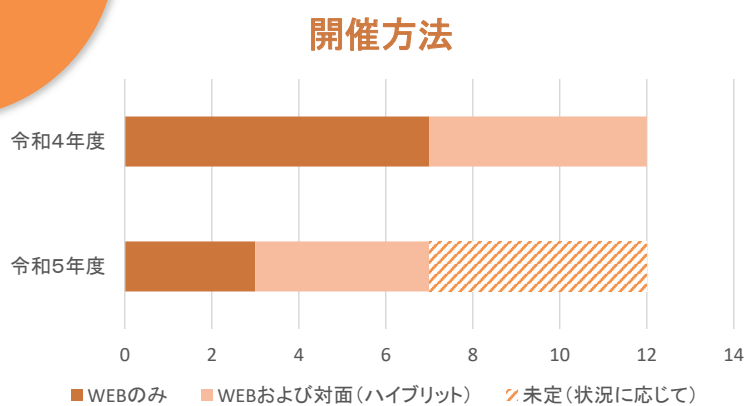
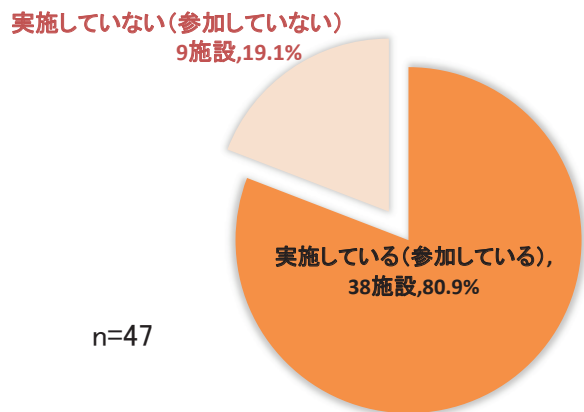


※ 「脳卒中地域連携パス」とは、脳卒中(ICD病名60-64)における診療報酬「A246入退院支援加算 地域連携診療計画加算」の地域医療連携診療計画のこと

2

「地域連携の会」の実施・参加の有無、開催方法

地域連携の会の実施・参加の有無



広島県地域保健対策協議会 脳卒中医療体制検討特別委員会

委員長	堀江 信貴	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学
委員	阿美古 将	JA尾道総合病院脳神経外科
	荒木 勇人	広島市医師会
	石橋 里美	広島県看護協会
	上田 猛	広島大学病院高度救命救急センター
	大下 智彦	呉医療センター脳神経内科
	大田 泰正	脳神経センター大田記念病院
	岡崎 美保	広島県介護支援専門員協会
	岐浦 禎展	県立広島病院脳神経外科・脳血管内治療科
	木矢 克造	日比野病院
	栗栖 薫	中国労災病院
	黒木 一彦	JA広島総合病院
	郡山 達男	脳神経センター大田記念病院
	小林 真紀	広島市健康福祉局保健部医療政策課
	五郎水 敦	広島県言語聴覚士会
	貞友 隆	東広島医療センター脳神経外科
	高木 節	広島県作業療法士会
	坪河 太	公立みつぎ総合病院（広島県リハビリテーション支援センター）
	豊田 章宏	中国労災病院治療就労両立支援センター
	中西 敏夫	広島県医師会
	西野 繁樹	広島県医師会
	野村 栄一	広島市立広島市民病院脳神経内科
	浜崎 理	市立三次中央病院脳神経外科
	廣澤 隆行	広島県理学療法士会
	藤原 薫	広島県地域包括ケア推進センター
	松尾 裕彰	広島県薬剤師会
	松田 貴志	広島市健康福祉局高齢福祉部地域包括ケア推進課
	丸山 博文	広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学
	森本 進	広島県歯科医師会
	山下 十喜	広島県健康福祉局健康づくり推進課
	山下 拓史	広島市立安佐市民病院脳神経内科